

第25回委員会（2003.9.30開催）結果報告

2003.10.3 庶務発信

開催日時：2003年9月30日（火） 13：30～18：15

場 所：大阪府立体育館 第2競技場

参加者数：委員 36名、河川管理者 20名、一般傍聴者 286名

1 決定事項

- ・淀川水系河川整備計画基礎原案に対する意見書」の構成は次の4部構成とし、次回委員会（10/29）での確定をめざす。

河川整備の方針について：基礎原案1～4章についての委員会の意見。

河川整備の内容について：基礎原案5章（整備内容シートを含む）についての委員会の意見。

計画策定における住民意見の反映について：委員会の意見。住民参加部会にて案を作成する。

部会意見：各部会にて作成する。

- ・各委員は10/13までに意見書素案（資料2-2）への意見を提出する。
- ・今後の流域委員会については、意見書には「基礎原案の記述は大筋了解」と記述し、具体的な内容は意見書とりまとめ後、1ヶ月程度で数名の委員で案を作成し全委員に諮る。

2 審議の概要

第24回委員会以降の状況報告

資料1「委員会および各部会の状況（提言とりまとめ以降）」をもとに、委員会、部会等の開催状況が説明された。

意見書の作成方針に関する意見交換

資料2-1「委員会意見書の作成方針（案）」を用いて、意見書の構成、作成スケジュール、今後の流域委員会、について説明が行われ、「1 決定事項」の通り、了承された。なお、整備内容シートに対する意見については、できるだけ地域別部会で各部会関連部分について意見集約した後、作業部会にて案を作成することとなった。

意見書（素案）-河川整備の方針について-に関する意見交換

作業部会リーダーの今本委員より、資料2-2「淀川水系河川整備計画基礎原案についての意見書（素案）-河川整備の方針について-」（意見書の にあたるパート）の説明が行われた後、意見交換が行われた。主な意見は次の通り。

<流域全体としての対応について>

- ・素案では、基礎原案での指定区間に対する記述を評価しているが、「流域全体・社会全体で対応する」という提言の観点から考えると、「もっと強く記述すべき」と意見すべき。また、関係省庁、自治体等の連携についても、積極的かつ主体的に連携していくべきと

いう提言の立場から記述した方がよい。

- ・河川管理者が整備計画の中で権限や法的な根拠の及ばない部分にまで言及できるように、河川管理者を支援する意味も込めて、「河川管理者は自らの権限外のことにも踏み込んでいかなければならない」と意見書の前段で明記しておいた方がよい。

<河川整備の目標について>

- ・素案の「3 治水」では、目標の達成期間を考慮して計画を立てるべきとあるが、これは整備計画全体にあてはまるので、意見書の前段に記述すべき。

<社会的合意について>

- ・河川管理者は、委員会や自治体や住民の意見を反映しながら整備計画を策定していくことが社会的合意を得る一つのシステムだと考えているが、これと社会的合意を得るということは、同じことなのか、別のことなのか、明確なご審議を頂きたい。(河川管理者)

<住民参加について>

- ・河川レンジャーについて、住民参加による川づくりの中での役割についても追記しておく必要がある。
- ・河川管理者は住民参加の試行と並行して、河川ごとに検討会をつくり、住民参加のルール作りも進めていくべき。

一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者5名から、「整備計画では淀川環境委員会について明確に位置付けるべき」「素案では、確率洪水による治水安全度の考え方に優位性を認めているが、これは委員会の合意事項なのか」「前回委員会での滋賀県知事の意見も一般意見と同等の扱いをするという決定は承知した。今後、滋賀県としてはこの決定を踏まえた対応をしたい」「基礎原案には大津放水路の2期区間の記述がない。整備計画では事業内容や期間について明確にしてほしい。このままでは地元の計画も進まない」「今日出された整備方針に関する意見書素案は提言と同じ観点から書かれており、安堵している。整備内容に関する意見も同じ観点で作成頂きたい」等の意見が出された。

なお、2点目の意見に対して委員から、「素案の確率洪水に関する記述は一般論であり、この委員会で確率洪水が優位と決めた訳ではない」との意見が出された。

以上

このお知らせは委員の皆様にご会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」、詳細については「議事録」を参照下さい。

第 26 回琵琶湖部会（2003.9.24 開催）結果概要（暫定版）

03.10.7 庶務作成

開催日時：2003 年 9 月 24 日（月） 13：30～16：30

場 所：大津プリンスホテル 2 階 コンベンションホール「淡海 6」

参加者数：委員 10 名、他部会委員 1 名、河川管理者 14 名、一般傍聴者 79 名

1 決定事項

- ・ 次回部会は、10 月 23 日（木）13 時または 13 時半より開催を予定する。次回運営会議（9/27 開催）で審議の状況を確認した上で開催を決定する。
- ・ 琵琶湖部会としてのとりまとめは、本日の議論を受けて中村リーダーが修正した後、部会委員へ送付し意見を提出してもらう。
- ・ 整備内容シートへの意見については、検討すべき部分の分担を決定し、中村リーダーより委員へ連絡する。

2 審議の概要

委員会、他部会および作業部会の開催状況等の報告

資料 1「委員会および各部会の状況報告（提言とりまとめ以降）」を用いて、委員会、各部会、意見書とりまとめの作業部会の状況等について説明が行われた。

意見書とりまとめに向けた意見交換

）意見書について

意見書の構成や意見書とりまとめの進捗状況等について、意見書とりまとめ作業部会リーダーである今本委員より説明があり、その後意見交換が行われた。主な意見は「3 主な意見」を参照。

）琵琶湖部会とりまとめ素案についての意見交換

主に資料 2「琵琶湖部会とりまとめ素案（概要）」を用いて意見交換が行われ、琵琶湖部会のとりまとめについては、概ねこれでよいことが確認された上で、上記「1 決定事項」の通り決定した。なお、体裁や構成の変更については、次回運営会議の結果を待って、必要に応じて修正することとなった。主な意見については「3 主な意見」を参照。

一般意見聴取試行の会の報告

資料 3「一般意見聴取試行の会の報告」をもとに、これまで 3 回開催された一般意見聴取試行の会（テーマ：これからの琵琶湖と川とダムを考える若者討論会）について、会の概要や出された意見、成果や課題等について報告がなされた。主な意見については「3 主な意見」を参照。

一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者 1 名から発言があった。主な意見については「3 主な意見」を参照。

3 主な意見

意見書とりまとめに向けた意見交換

) 意見書について

- ・作業部会では、現在、整備計画基礎原案の1章から4章の“河川整備計画の考え方や方針”にあたる部分に対する意見書をつくる作業をしている。まだ運営会議で承認を得る必要があるが、全委員に対しては、特に具体的な整備内容シートの検討を依頼したいと考えており、例えば、琵琶湖部会に関連する部分については、琵琶湖部会でまとめていただきたい。地域別部会やテーマ別部会の部分については、できるだけ構成等はそろえたいが、各部会の独自性もあるので、多くを部会に任せたいと考えている。(作業部会リーダー)

最終的なとりまとめの段階になって慌ててまとめるようなことはしたくないので、日程についても運営会議等で十分検討してほしい。

- ・運営会議と庶務で意見書とりまとめのための意見の集約の仕方を整理し、最終的な仕上がりをイメージした具体的な形で指示をしてほしい。

意見を求められた委員が混乱しないようにする必要がある。また、河川管理者にも一般の方にも流域委員会の見解が分かるような整理の仕方をすべき。

9月27日の運営会議で了承が得られれば、明確に方針を出せるだろう。(作業部会リーダー)

- ・意見書の構成は、 が骨子、 が整備内容シートについての意見、 が部会ごとの意見取りまとめということだが、 が具体的な中身になるので と を入れ替えてはどうか。
- ・基礎原案に対する意見書は、第2稿までのような修正等の要望の形ではなく、委員会としての判断や意見を公式に述べる形になる。(部会長)

) 琵琶湖部会とりまとめ素案についての意見交換

- ・意見書の主旨に合わせて、評価できるところは評価し、指摘すべきところはきちんと指摘するような形に書き直す必要がある。
- ・部会のとりまとめに関しては琵琶湖部会が最も先行しており、内容についても一つの模範となり得る。これはこれで良いのでは？(作業部会リーダー)
- ・最新の情報に基づいて修正することと、数字と記号の扱いがばらばらなのでフォーマットを統一して整理することが必要。
- ・琵琶湖部会は治水の部分が少ないので、充実する必要があるがどうすればいいか。

琵琶湖周辺で問題になっていることについて治水部会でも検討するので、その検討結果を参考にしてほしい。(作業部会リーダー)

- ・部会のとりまとめで個別意見の添付部分(資料2の12ページ以降)の取り扱いはどうなるのか。

委員会の意見として一本化されるのであれば、部会の中でこのようなものを添付する必要はなくなる。

整備シートに関わる部分は、全て委員会の意見として一本化したいと考えているが、例えば琵琶湖部会に関連する部分は琵琶湖部会で原案をまとめていただき、それをもとに作業部会で全体の再調整を行う。委員会でまとめた意見書に「反対」という意見を書くところは提言のような形で別に設けたいと思う。(作業部会リーダー)

資料2の22ページ以降は、整備内容シートについての意見の部分と、既にとりまとめ素案に取り入れられている部分、とりまとめに追加すべき部分が混在している。この部分については整理していただき、意見を出した委員もこの観点から見直して修正してもらってはどうか。(部会長)

<整備内容シートの検討について>

- ・整備内容シートの中身は「実施」と「検討」の2つに分かれる。「検討」については、このような検討も必要である、という言い方ができるが、「実施」の部分に関して、実施してよいという判断をどのようにしていくかを議論してはどうか。

部会では部会としての意見をまとめて、最終的な判断は委員会で行うことになる。まずは各委員ができるだけ意見を出すことが重要だと思う。出てきた意見に対する議論も委員会で行うことだろう。(部会長)

特に、「実施」とされている事業で実施すべきでないという意見は重要であり、理由を明確にして出してほしい。(作業部会リーダー)

- ・基礎原案に対応する新しい整備内容シートをまた一から見直している時間はない。既に第2稿の整備内容シートに対する意見は出されており、これを活用するためにも整備内容シートの第2稿と基礎原案の変更点の比較表が欲しい。

庶務にて、第2稿に出された意見を整理し基礎原案のシート番号にふり直して、意見が基礎原案に反映されているかが委員に分かるように示してほしい。(部会長)

番号の対応表は現在作成中である。庶務では意見がどの程度反映されているか等の判断まではできかねるが、シートが前回と同一である、あるいはここに図が挿入されている等の簡単なコメントをつける程度なら可能である。その作業をするなら、一週間位は見えていただきたい。(庶務)

整備内容シートの検討については、9/30までは各自の得意分野に関連する箇所の意見を提出し、30日以降にそれ以外の箇所への意見を提出してはどうか。30日の委員会で主に審議されるのは、整備内容シートについてではなくIの意見書の骨子の内容である。(作業部会リーダー)

- ・整備内容シートの琵琶湖に関わる部分で出てきた意見については、部会できちんと議論してから委員会に提出する必要がある。その整理は、琵琶湖部会のワーキンググループにお願いしたい。(部会長)
- ・整備内容シートの個々の内容については、複数の意見が出された上で集約されることが望ましいが、現状では意見の出ている箇所と出ていない箇所に差が出ている。

琵琶湖部会としての意見をまとめるためには、出ている意見に対する意見もどんどん出して、議論して行くべき。(部会長)

<その他>

- ・琵琶湖部会で議論する内容は下流に影響するので、他部会からも琵琶湖部会の意見とりまとめ素案或いは整備の内容について意見をもらいたい。琵琶湖部会からそのような要望を出す、また、必要であれば10月に他部会と琵琶湖部会を合同開催する等考えられる。

直接意見を交わすことが必要なので、スケジュール的には厳しいができるだけそのような機会をつくりたい。(作業部会リーダー)

- ・天津放水路の2期事業について整備計画では実施とも検討とも記載されていないが、どのよ

うな判断をされて何も記載されていないのか。

基礎原案（4.3「治水・防災」）における治水の対策の優先順位として、破堤の回避・軽減、狭窄部上流の浸水対策、琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減、そして「一連区間整備の関連等」として、これ以外で現在かなり事業が進んでおり、完成間近であるものを完成させることを挙げている。大津放水路の1期事業については、この最後の項目に当てはまるが、2期事業に関してはこれらの優先項目のどれにも当てはまらないため、扱いが決まっていないので記載していない。2期事業が効果はないと言っているのでは決してないが、限られた中での優先順位を考えた際に、直ちに実施という位置づけにはなっていないということだ。（河川管理者）

一般意見聴取試行の会の報告

- ・3回取り組んだ中で、委員と発言者、また会場の参加者との議論もあり、今後の整備計画にも反映していけるような積極的な意見もあった。不十分な点については資料3の7ページにまとめているので、これらの点を参考にして今後に活かしていただければ、いい討論集会をつくっていけるのではないかと感じた。
- ・若者の応募が少ないことが課題。若者の関心の低さはかなり深刻であること、若者に川や水に関心を持ってもらうことがいかに難しいかを感じた。もっと関心を持ってもらうことが重要。

一般からの意見聴取

- ・本日議論された『琵琶湖部会とりまとめ素案』（資料2）は、メリハリがあり見解も明快でよくできている。他部会でも参考にさせていただいて、全体にわたってこのような格調高い意見書を出してほしい。

以上

説明および発言内容は、随時変更する可能性があります。議事内容の詳細については、「議事録」をご覧ください。最新の結果概要はホームページに掲載しております。